

---

# ローカル鉄道タレント社員

鉄道人

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ローカル鉄道タレント社員

### 【NZコード】

N2646Q

### 【作者名】

鉄道人

### 【あらすじ】

人気タレントの北原が、TV企画で赤字ローカル鉄道に向かった。最初は戸惑っていたが、社員の熱意に心打たれ、赤字を立て直そうと努力する。

## ロケ1日目（前書き）

言つまでもありますんがこの小説は全てフィクションです。  
ただし、作中登場する路線は、「矢ヶ崎田園鉄道」をイメージ  
していますが、あくまで「イメージ」であり、なんら関係はないぢ  
いません。（「似てないぞ！」と呼び批判をおやめください。）

## 口ケ1日目

僕は今、岩手県のローカル鉄道「北原鉄道」にきています。テレビの取材なのですが・・・

「ハイ、これ頼む」「この書類、今日中に仕上げてね。」「赤字転換、なんかアイデア無い?」

・・・すっかり「新入り社員」です。

あつと、僕は「南原 良哉」。今ブームのタレント。テレビの企画で、「南原、北原鉄道へ行く」というのをやるとかで、そのロケにきたのに、何でこうなったのだが、僕にはさっぱり分かりません。しかも、カメラの人たちは、社員さんたちに「邪魔!」とだけ言われて廊下にいます。お昼ご飯も近くの定食屋がドアの前に置いただけ。しかも、僕の分は無いし、電話もしていないのに・・・(奥のほうで車両のイラスト書いていた人が「明日から一つ追加」って言つていたけど、なんか関係あるのかな・・・?)。

よく分からぬまま渡された書類を書いて、みんなが仕事を終えたら、自己紹介になつた。朝からずっと一緒にいて、今・・・もう、夜の9時まで自己紹介しなかつたのが不思議なんだけど、とにかく覚えなくちゃいけない。だつて、この取材は1ヶ月もあるんだから。

ここまできて、戦場並みの忙しさだった本社もやつと落ち着いた。まず、奥のほうで車両のイラストを書いていた、年輩の方が社長兼広報の広脇さん。社長と兼任しているつて事が不思議だけど、「赤字だから」の一言で片付けられた。

次に、僕の隣で電話をジッとにらんでいた人が、運転士兼車掌の横溝さん。どうやら、ワンマン運転らしい。(ちなみに、電話をにらんでいたのは、発注の確認電話が今日来るはずだつたらしい。) 今日は運転する日じゃないそうだ。

僕の前で書類を書いていたのがボランティアの吉岡さん。ボラン

ティアだから、給料は無いって言っていた。

後は、ほかの運転士さん達。数が少ないけど・・・（10人ぐら  
い？）

ちなみにさつきの定食屋さんは石田さん。ここからは頼むメニュー  
も時間も量も決まっていて、あるとき、「もう頼む時間が無いから、  
今後は、いつもの奴をいつもの量、いつもの時間に頼む」とて言わ  
れらしい。

さて、自己紹介はこんなものだろうか・・・ カメラも回り終わ  
ったし、今日はこれで解散・・・

と言われたのに、なぜかみんな残つて仕事を始めた。どうやら、ボ  
ランティアの吉岡さん以外、社員は全員ここに寝泊り、寝る直前ま  
でここで仕事をしているそうだ。（自主的に）僕はもう帰つてい  
けど。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2646q/>

---

ローカル鉄道タレント社員

2011年1月26日07時08分発行